

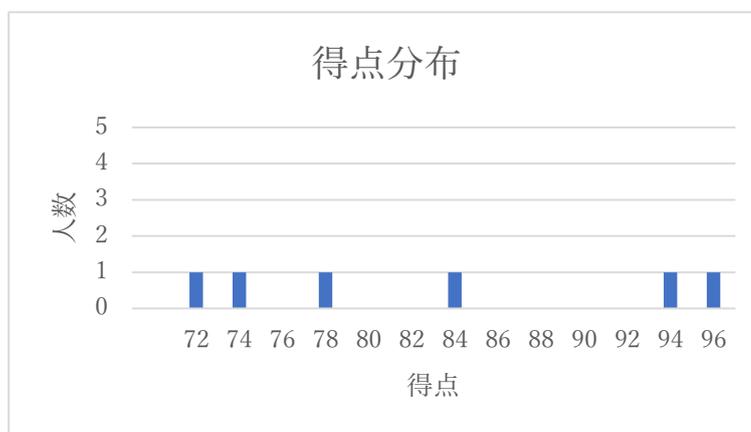
## 令和5年度 第1・2回 イベントディレクタ認定試験 講評

### 1. 実施概要

- ・ 実施期日 令和5年6月10日～20日  
令和5年9月10日～20日
- ・ 単一選択式
- ・ 受検者 6名
- ・ 認定者 3名

### 2. 認定点

- ・ 認定点 80点（100点満点）
- ・ 最高点 96点
- ・ 平均点 83点



### 3. 総評

回答にあたっては、講習資料をよく読んで、規則やガイドラインを正しく理解していることが求められる。2023年5月に日本オリエンテering競技規則が大幅に改正されたので、それを踏まえた出題となった。

認定ラインは前々回および前回と同じ80点とした。今後も同レベルの基準になることが予想される。惜しくも認定点に届かなかった者は、後述の設問のポイントを参考にして、あらためて講習資料および競技規則を読み直すことにより、正確な知識を身に付けてくれることを期待する。自身が経験で身に着けた知識と実際の規則で相違があることも、少なくないと思われる。

### 4. 設問のポイント解説

以下に誤答の多かった設問のポイントを列挙する。

- ・ 同じ大会、同じトレインで、若いクラスはミドル・ディスタンス競技、高齢者クラスはロング・ディスタンス競技を実施するようなことは可能。また、ミドル・ディスタンス競技を ISSPrOM の地図で開催することも可能。
- ・ リレー競技では各チームで走区毎のパターンを変えるが、全体としては同じコース（レグ）を走るようにする。長い走区や短い走区といったバリエーションを作ってもよいが、チームによってその並びが変わるよう織り交ぜてはいけない。
- ・ 設置するクラスはガイドラインに従うことが推奨されるが、主催者の裁量で定めることも認められている。
- ・ ロング・ディスタンス競技のような体力を要求されるクラスでは、若年層の選手を保護するために、無理なクラスに出場できないようにしている。
- ・ プリテン 2/3/4 は EA の承認のもとで公表する。プリテン 1 は開催告知なのでできるだけ早く公表する。プリテン 2/3 には日本ドーピング防止規程の対象となることを明記する。エントリーシートには必要以上の個人情報を記載することは避ける。
- ・ 地図を作成するに当たっては、「総描」という考え方や競技者にとって読みやすいということが重要である。真に正確に地図を作成するのではなく、競技者が地形を読み取りやすいように適度に誇張して表現することは推奨される。
- ・ 地図で地形や特徴物は、競技者が競技をしている状況で読み取れる、あるいは読み取るべきレベルで記載して、詳細に書き過ぎないようにする。15,000 の縮尺で表現できない地形は 10,000 でも表現しない。
- ・ ISSPrOM で立体構造の下層が通行できることを表す時は、上層部の地表面の状態に対応した色のストライプで表記する。橋の

下が川などで物理的に通行できない時はストライプで表記はせず、橋の縁を通行不能の壁で表記する。

- ・コントロールのコードナンバーは、競技規則では 31 より小さい数字を使用しないとなっているだけだが、4 桁以上を使うと電子パンチシステムが対応していないことがあるので注意する。上下逆にすると異なる番号に読める時は、下線を引いて上下を示す。
- ・SI のカードには通過した時刻が記録されるが、Emit のカードには相対的な時間が記録される。
- ・コントロール位置説明で、特徴物の詳細な状態を E 欄に記載するが、地図から読み取れる情報まで記載しすぎないようにする。
- ・コントロール設置においては、不公平・偶然性を排除することが肝要。近くに明瞭なアタックポイントがあったり、視界良好で遠くから特徴物が確認できるなど、無理のないナビゲーション精度で到達できるのであれば、穴の中に置いてはいけないということはない。
- ・競技者を惑わすことのないよう、コントロールは一定以上の間隔をあけて設置する。

フォレスト競技では、直線距離で 30m 以上（トレインでも地図でも明確に異なっていない場合は 60m 以上）

スプリント競技では、走行距離で 25m 以上、直線距離で 15m 以上

- ・マス・スタートおよびチェイシング・スタートの競技では着順で順位が決定する。成績表では順位が明確になるように 0.1 秒単位でタイムを掲載してもよい。
- ・競技時間をオーバーしたら、フィニッシュ閉鎖まで時間があっても、競技を中止して速やかにフィニッシュに向かうことが求められる。
- ・裁定委員会では正確な情報を収集することが大切なので、当事者から意見を聴取することも時には有効である。最終決定をする際には、EA と委員以外を離席させてもよいし、裁定に影響がなければ同席させてもかまわない。
- ・IOF 規則の付則にある「競技形式」に、適切なコースを設定するために競技形式毎のコンセプトが説明されている。

## 5. 設問ごとの回答状況

設問	正答数	誤答数
(1)	6	0
(2)	6	0
(3)	6	0
(4)	6	0
(5)	6	0
(6)	5	1
(7)	1	5
(8)	6	0
(9)	5	1
(10)	6	0
(11)	4	2
(12)	6	0
(13)	3	3
(14)	5	1
(15)	6	0
(16)	4	2
(17)	5	1
(18)	5	1
(19)	6	0
(20)	6	0

設問	正答数	誤答数
(21)	6	0
(22)	3	3
(23)	4	2
(24)	5	1
(25)	5	1
(26)	5	1
(27)	6	0
(28)	4	2
(29)	6	0
(30)	3	3
(31)	3	3
(32)	5	1
(33)	3	3
(34)	6	0
(35)	4	2
(36)	6	0
(37)	6	0
(38)	6	0
(39)	5	1
(40)	6	0

設問	正答数	誤答数
(41)	5	1
(42)	6	0
(43)	6	0
(44)	6	0
(45)	6	0
(46)	1	5
(47)	4	2
(48)	6	0
(49)	6	0
(50)	3	3